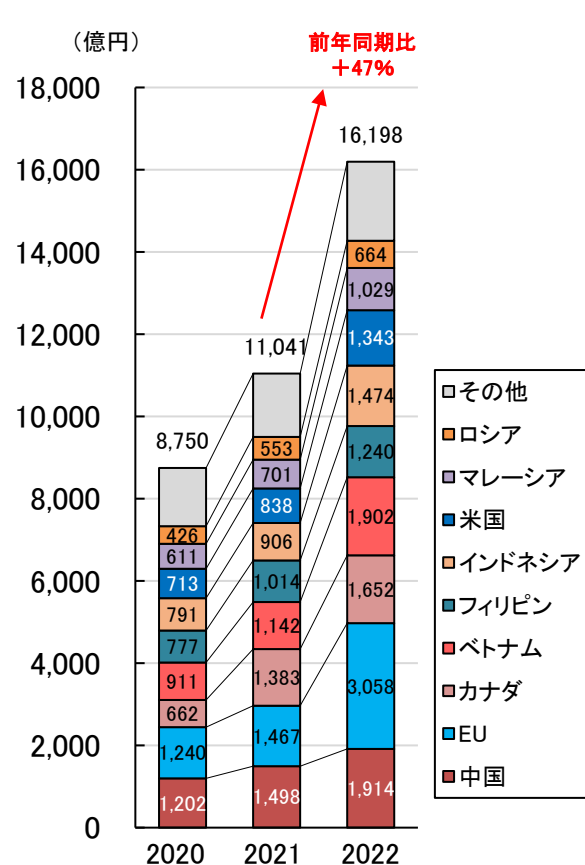


木材輸入の状況について (2022年11月実績)

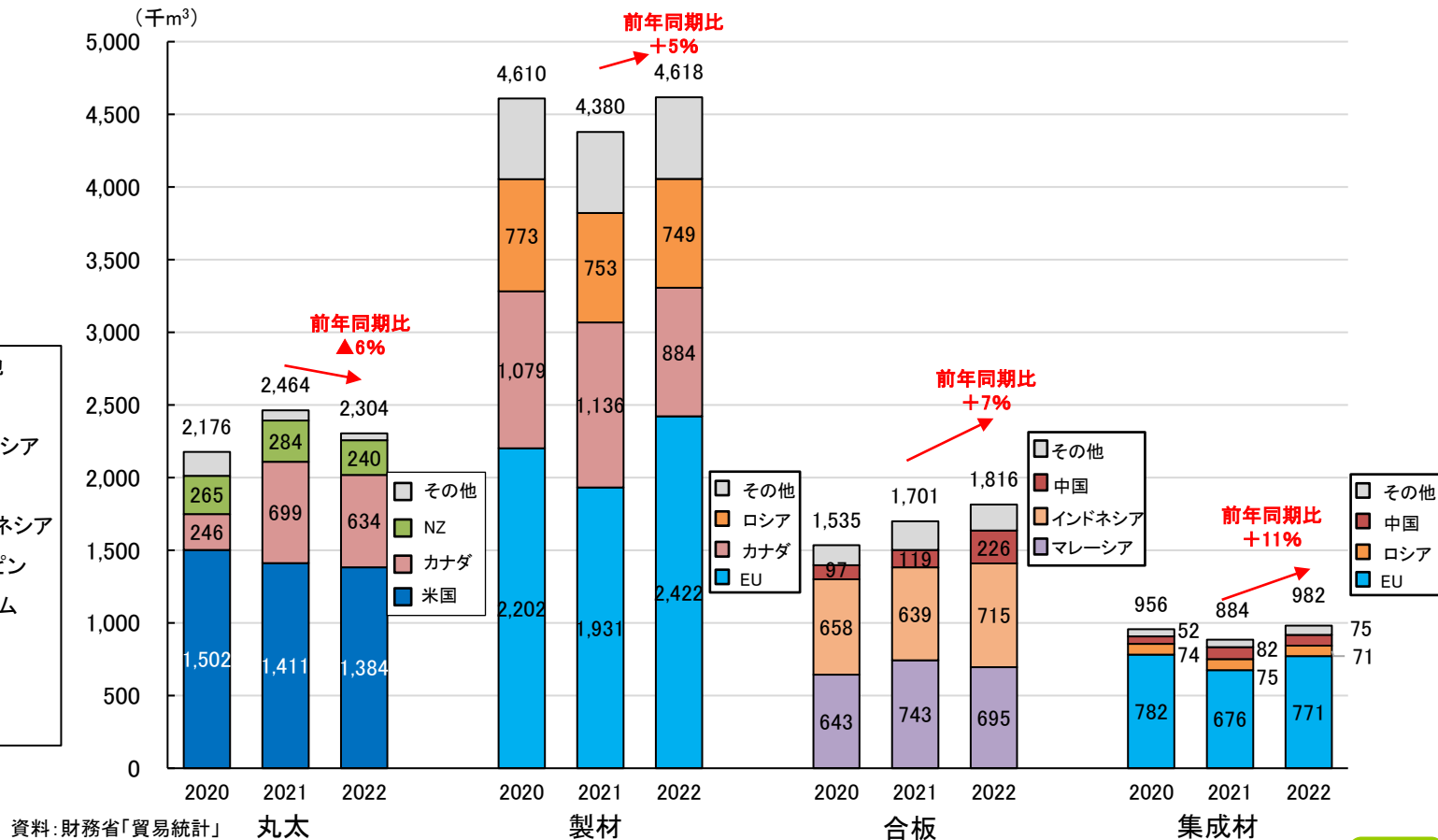
令和4年12月
林野庁 木材貿易対策室

1. 2022年11月までの木材輸入実績(累計)

- 2022年1～11月の木材輸入額累計は、前年同期比+47%増の1兆6,198億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲6%減、製材が同+5%増、合板が同+7%増、集成材が同+11%増。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1～10月の木材輸入額累計は同+85%増。品目別輸入量では、丸太が同+6%増、製材が同+0%増、合板が同+18%増、集成材が同+3%増。



木材輸入額の推移
(2020～2022年における1～11月累計)



(注)2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

品目別木材輸入量の推移
(2020～2022年における1～11月累計)

2. 製材・集成材の月別輸入量

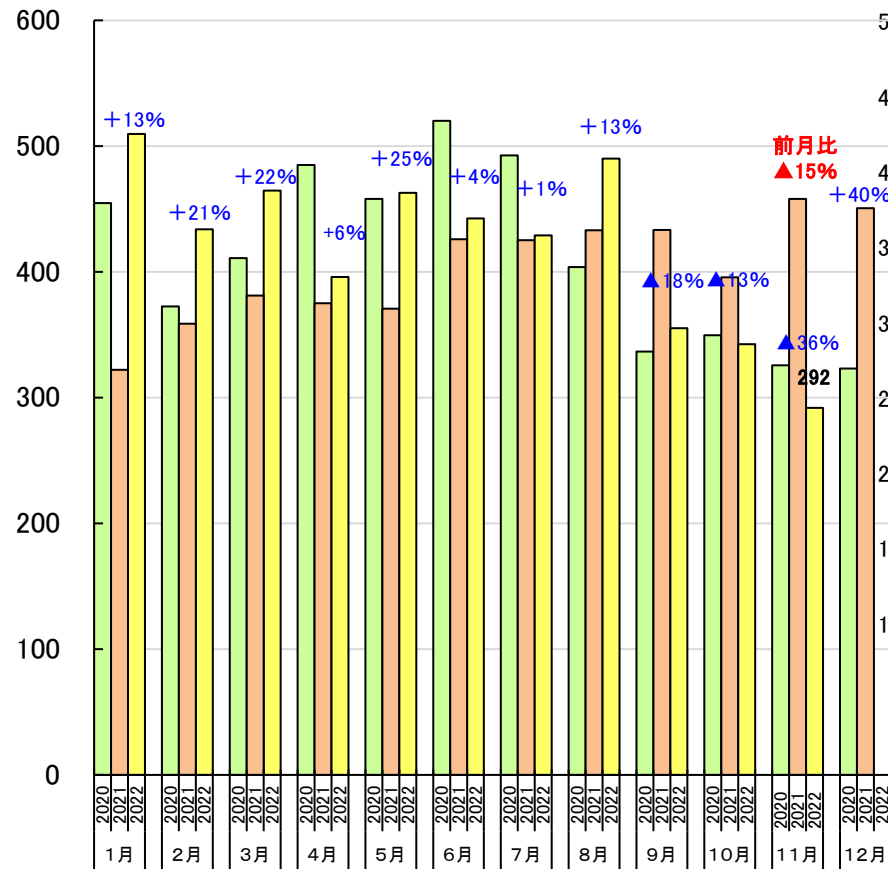
- 2022年11月の製材輸入量は、前月比▲15%減の29万m³(前年同月比▲36%減、2020年同月比▲10%減)。1～11月の累計は、前年同期比+5%増(2020年同期比+0%増)の462万m³。
- 同月の集成材輸入量は、前月比▲26%減の5万m³(前年同月比▲49%減、2020年同月比▲30%減)。1～11月の累計は、前年同期比+11%増(2020年同期比+3%増)の98万m³。

(千m³)

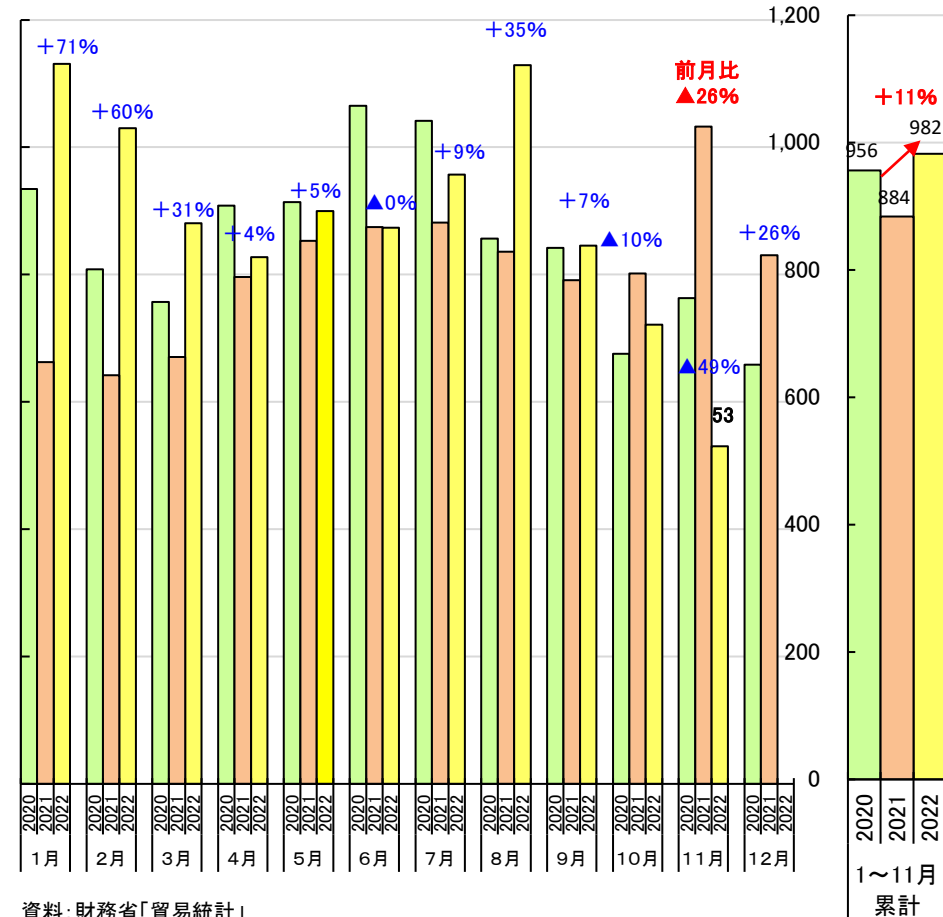
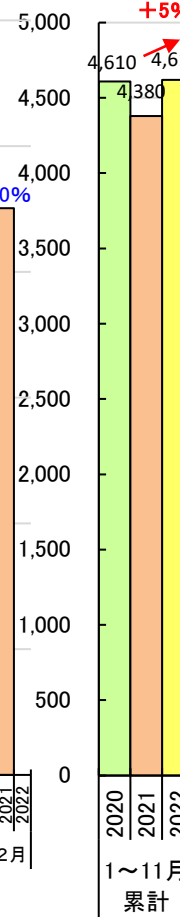
(千m³)

(千m³)

(千m³)



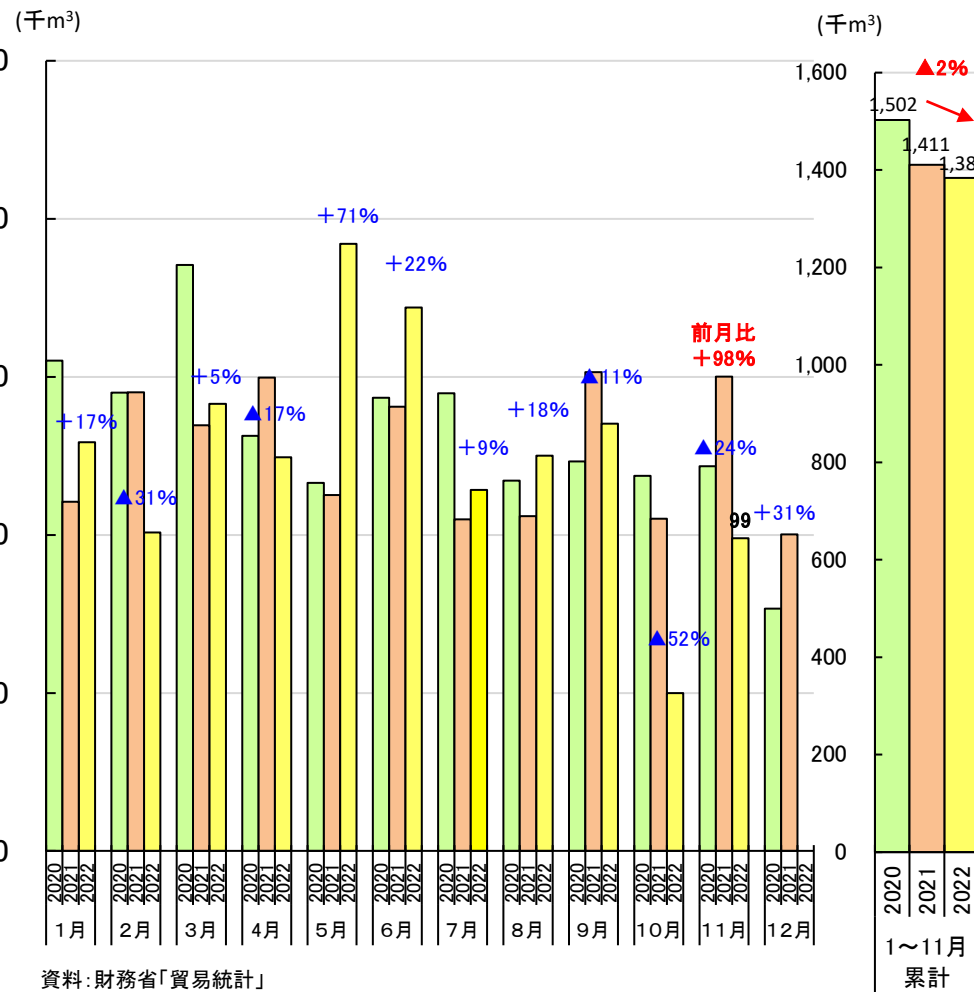
製材の輸入量



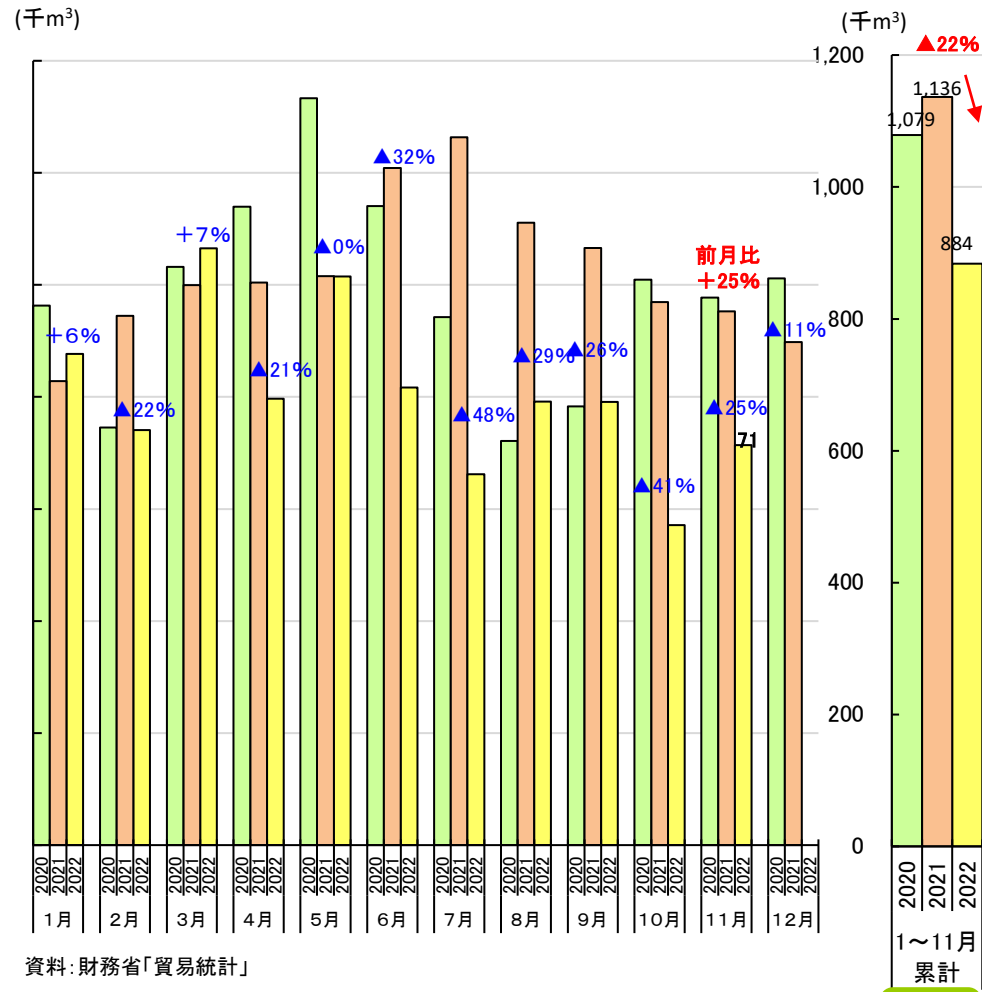
集成材の輸入量

3. 北米からの月別輸入量

- 2022年11月の米国からの丸太輸入量は、前月比+98%増の10万^{m³}（前年同月比▲24%減、2020年同月比▲19%減）。1～11月の累計は、前年同期比▲2%減（2020年同期比▲8%減）の138万^{m³}。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比+25%増の7万^{m³}（前年同月比▲25%減、2020年同月比▲27%減）。1～11月の累計は、前年同期比▲22%減（2020年同期比▲18%減）の884万^{m³}。



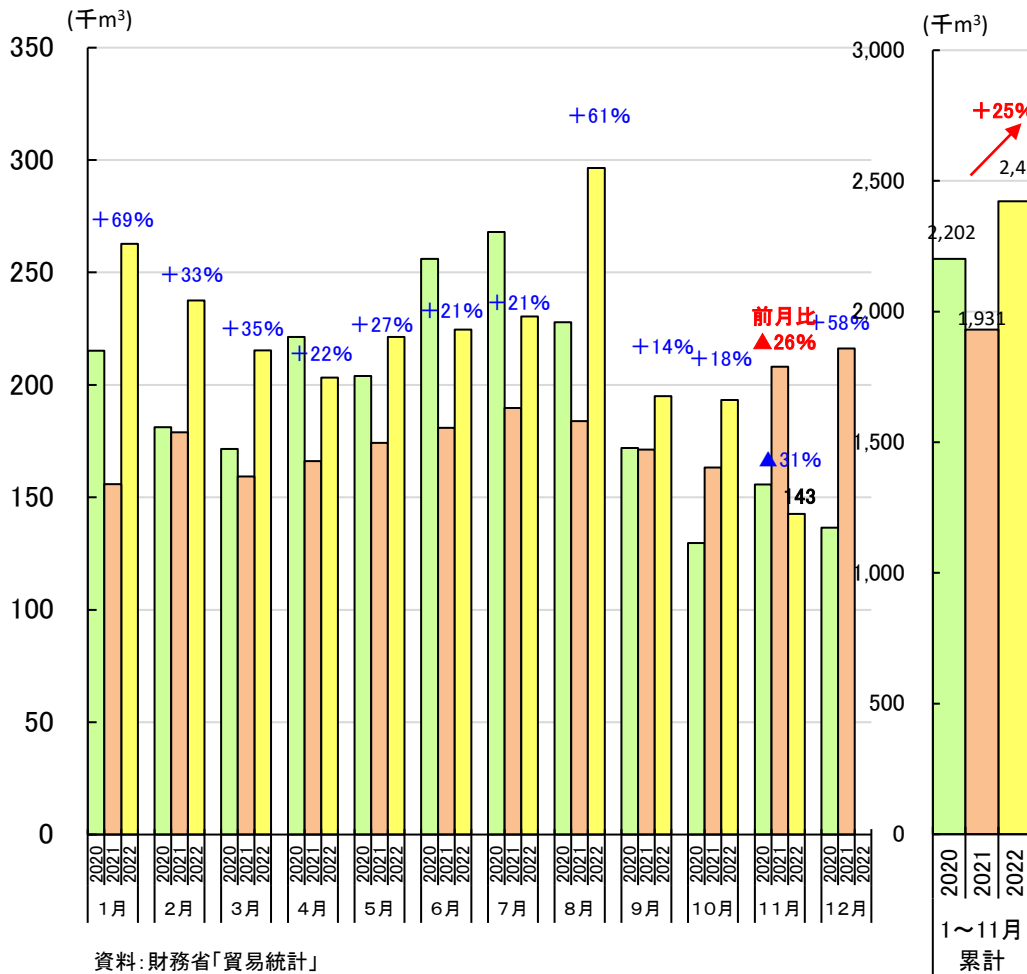
米国からの丸太輸入量



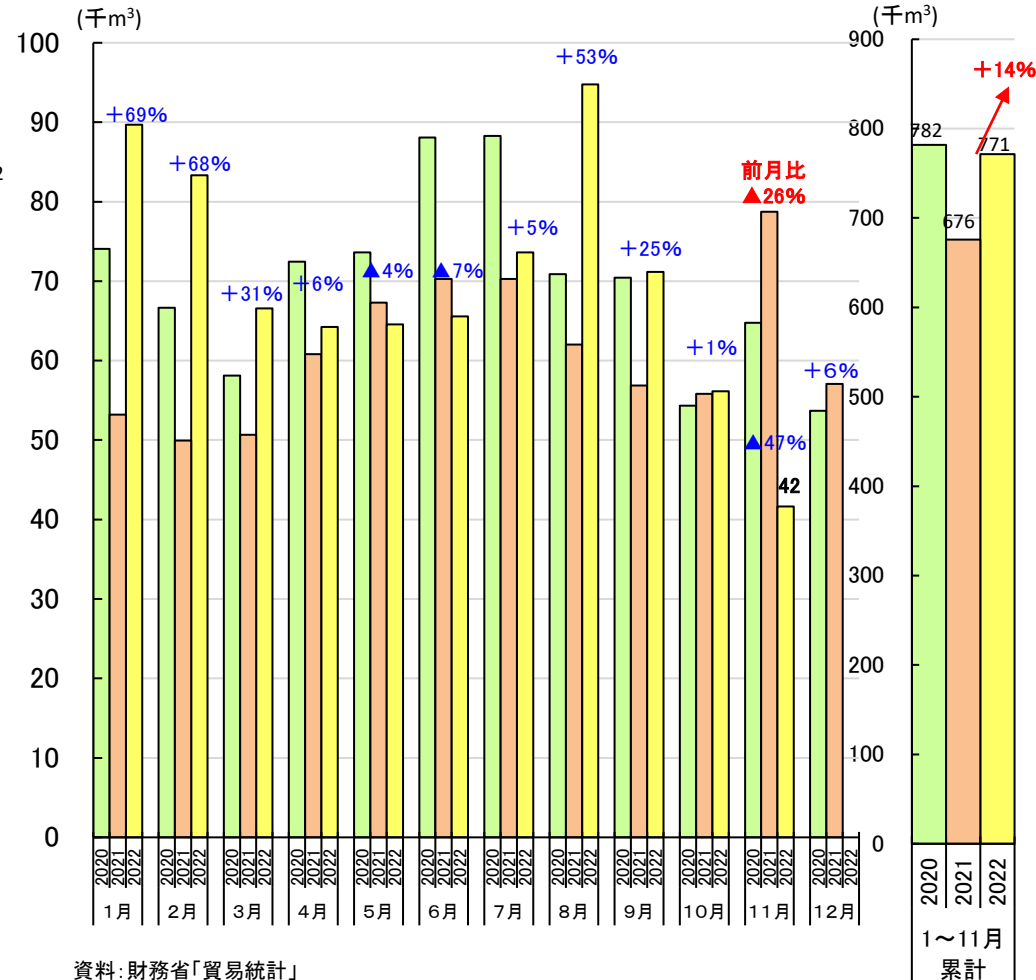
カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

- 2022年11月のEUからの製材輸入量は、前月比▲26%減の14万m³(前年同月比▲31%減、2020年同月比▲8%減)。1～11月の累計は、前年同期比+25%増(2020年同期比+10%増)の242万m³。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比▲26%減の4万m³(前年同月比▲47%減、2020年同月比▲36%減)。1～11月の累計は、前年同期比+14%増(2020年同期比▲1%減)の77万m³。



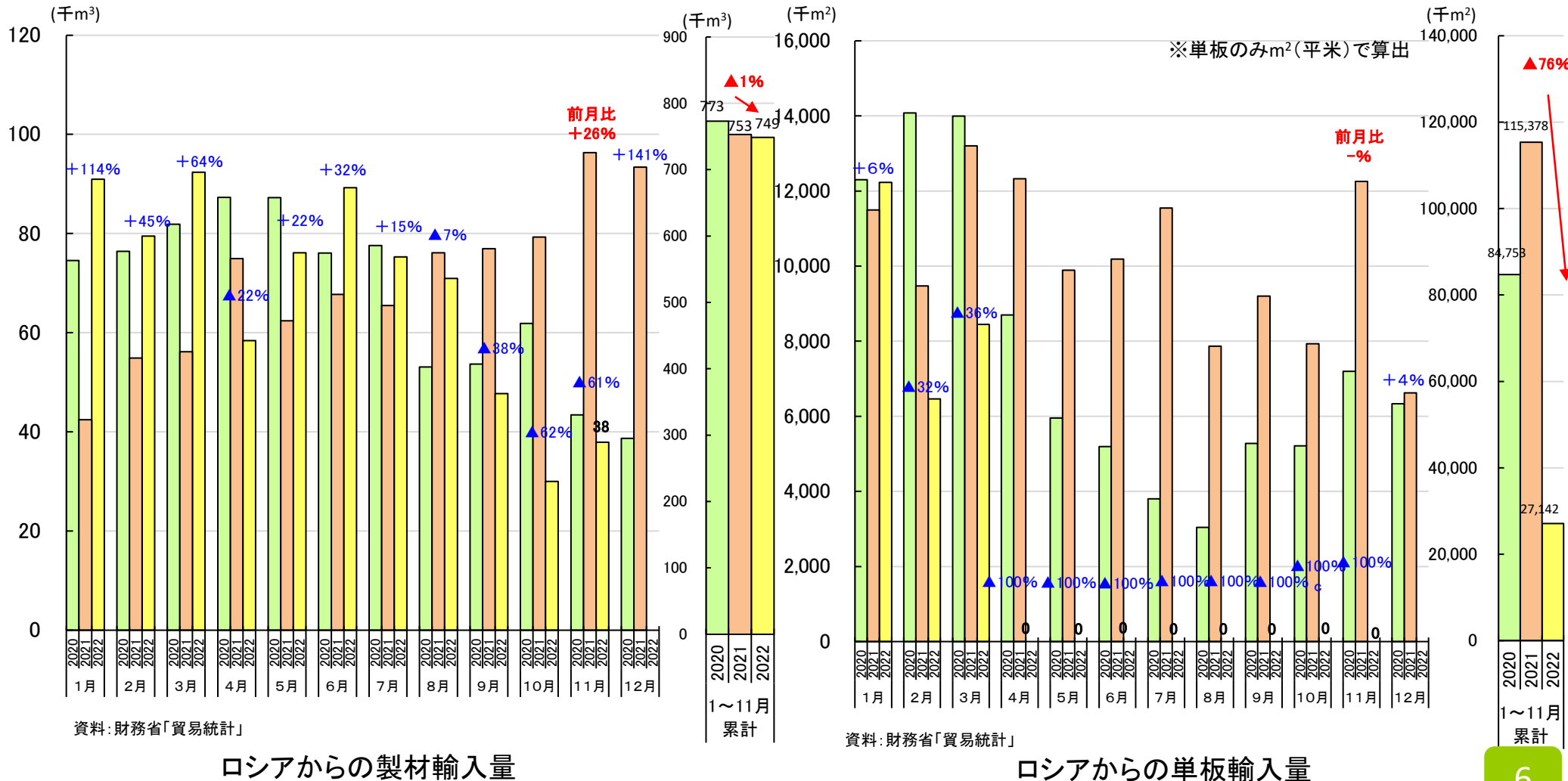
EUからの製材輸入量



EUからの集成材輸入量

5. ロシアからの月別輸入量

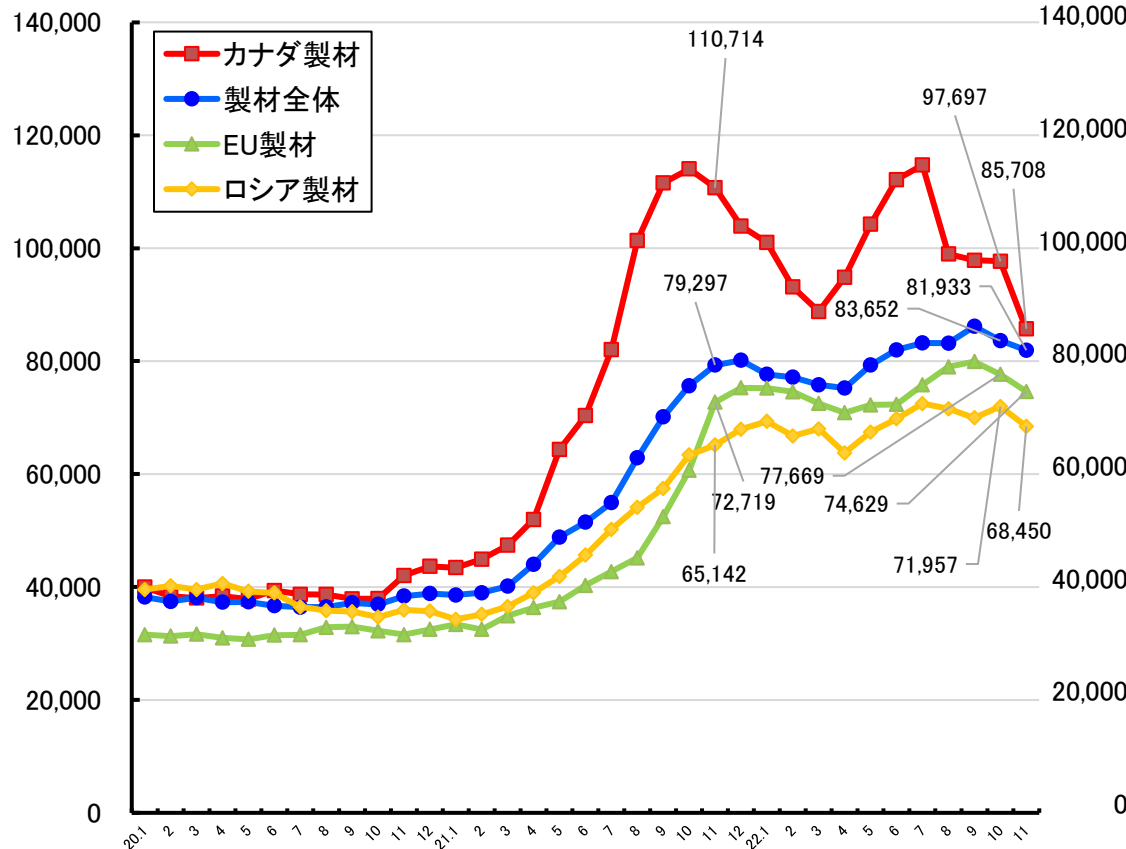
- 2022年11月のロシアからの製材輸入量は、前月比+26%増の4万m³(前年同月比▲61%減、2020年同月比▲13%減)。1～11月の累計は、前年同期比▲1%減(2020年同期比▲3%減)の75万m³。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、輸入実績なし(前年同月比▲100%減、2020年同月比▲100%減)。1～11月の累計は、前年同期比▲76%減(2020年同期比▲68%減)の2,714万m²。



6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2022年11月の製材輸入平均単価(総輸入額／総輸入量)は、前月比▲2%減の81,933円/m³(前年同月比+3%増)。うち、**カナダの製材**は、前月比▲12%減の85,708円/m³(前年同月比▲23%減)、**EUの製材**は、前月比▲4%減の74,629円/m³(前年同月比+3%増)、**ロシアの製材**は、前月比▲5%減の68,450円/m³(前年同月比+5%増)。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲5%減の110,641円/m³(前年同月比+17%増)。

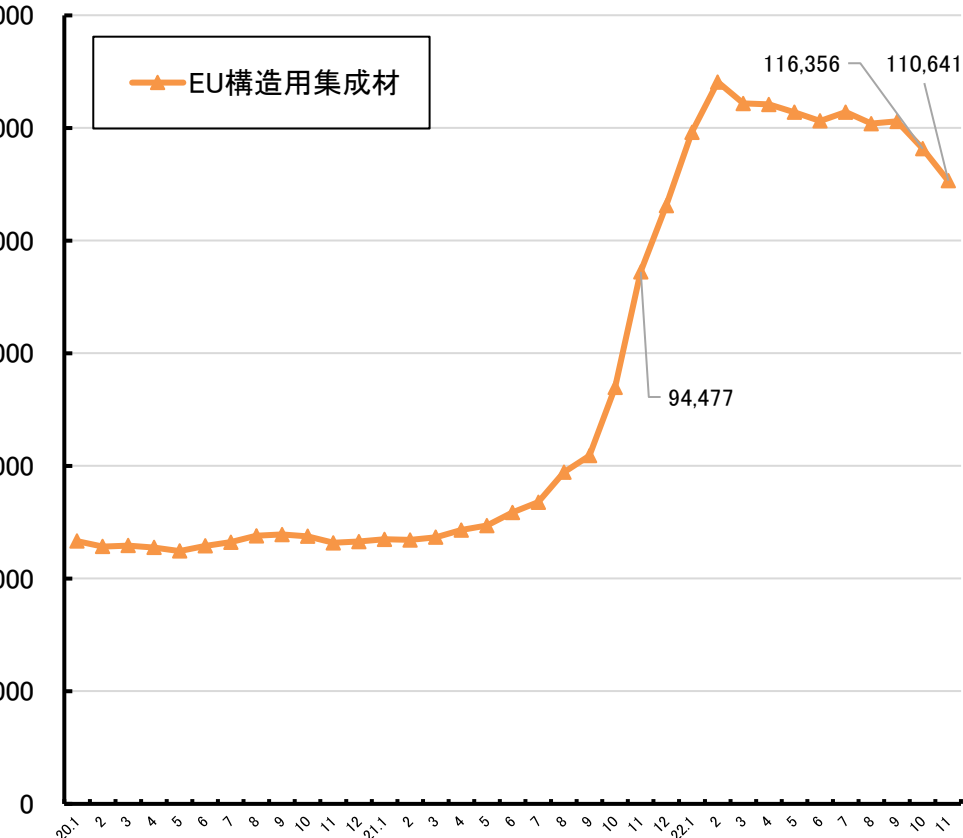
(円/m³)



注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価

(円/m³)



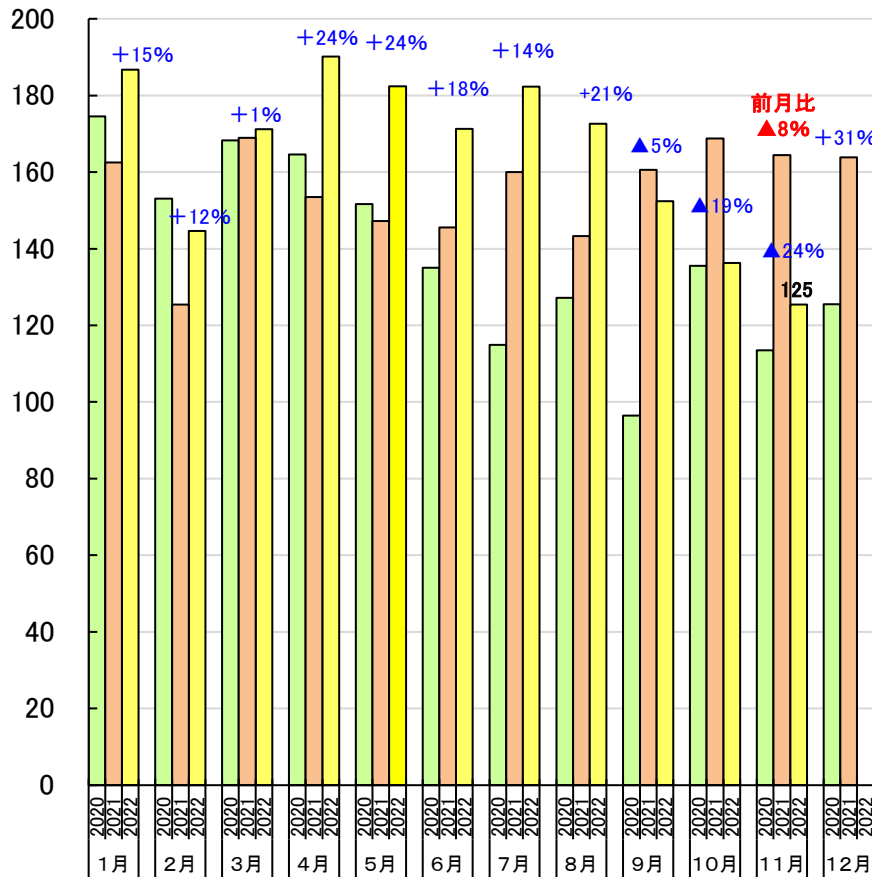
注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

7. 合板の月別輸入量と価格

- 2022年11月の合板輸入量は、前月比▲8%減の13万 m^3 （前年同月比▲24%減、2020年同月比+10%増）。1～11月の累計は、前年同期比+7%増（2020年同期比+18%増）の182万 m^3 。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比▲4%減の112,514円/ m^3 （前年同月比+50%増）。

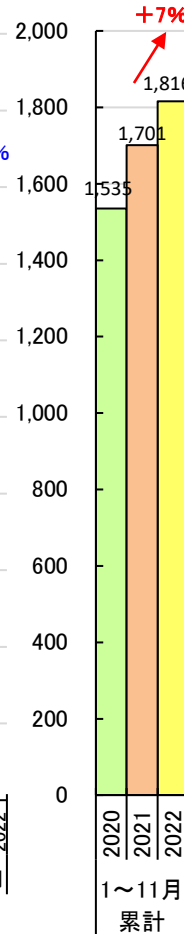
(千 m^3)



資料: 財務省「貿易統計」

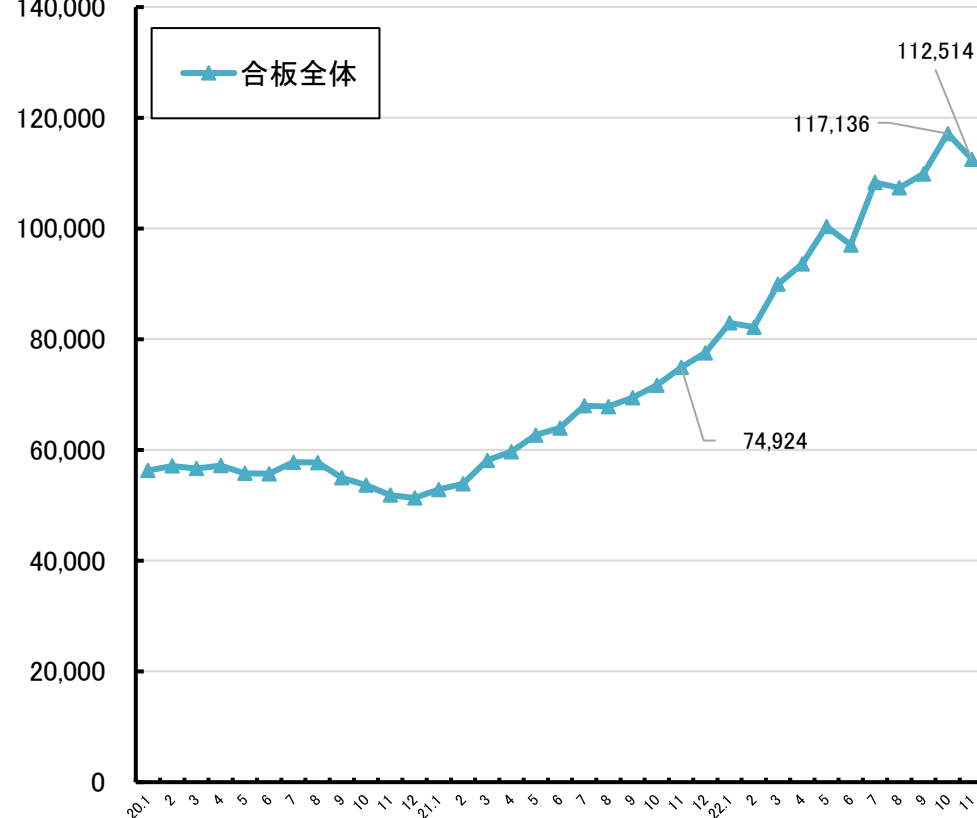
合板の輸入量

(千 m^3)



1～11月
累計

(円/ m^3)

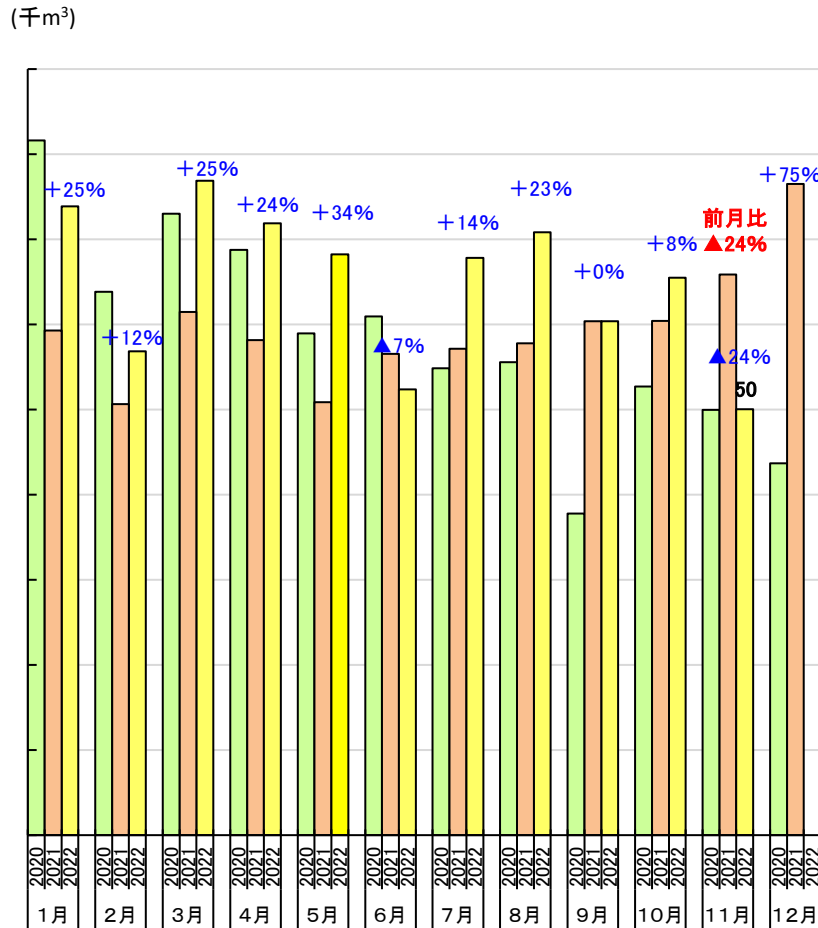


注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

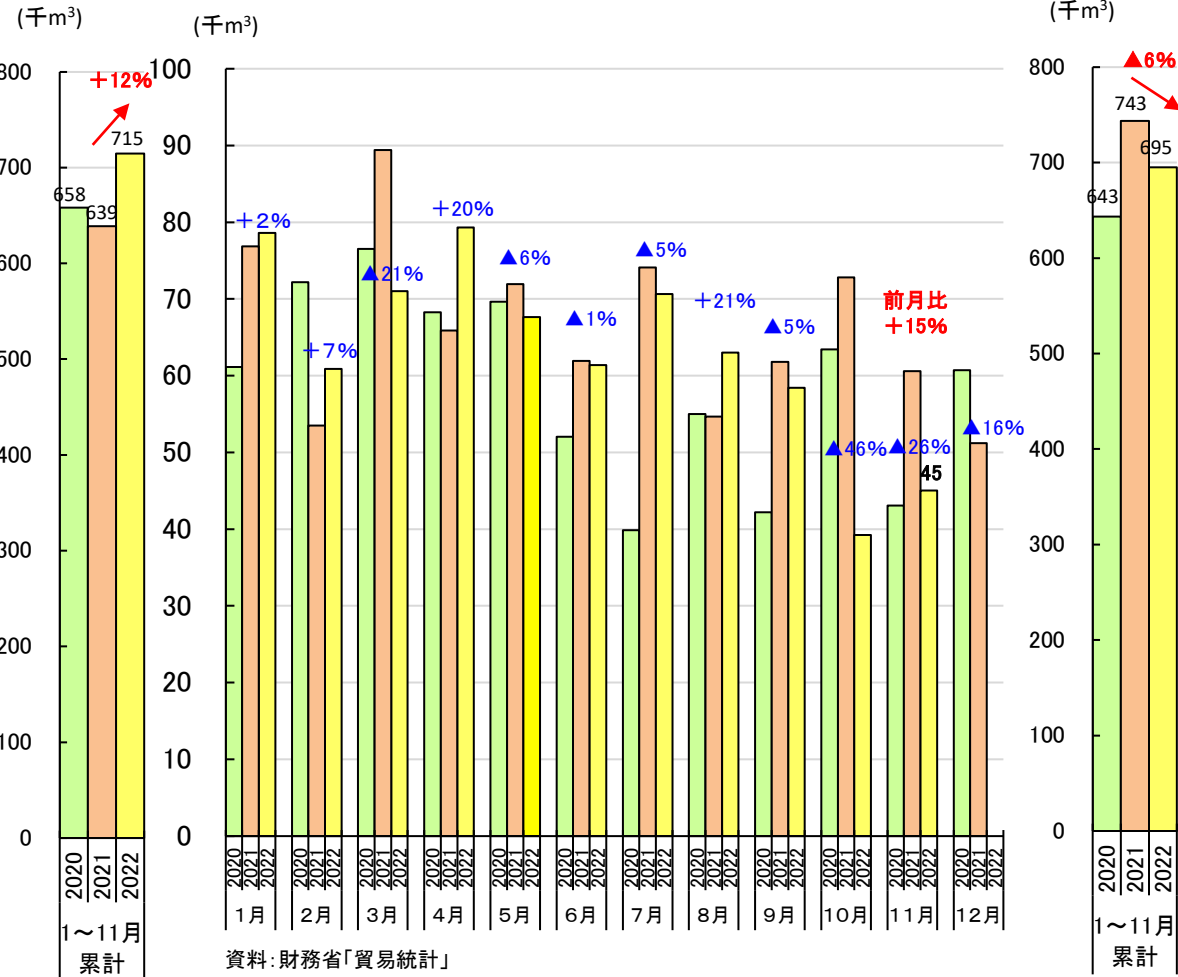
合板の輸入平均単価

8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2022年11月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲24%減の5万m³（前年同月比▲24%減、2020年同月比+0%増）。1～11月の累計は、前年同期比+12%増（2020年同期比+9%増）の72万m³。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+15%増の5万m³（前年同月比▲26%減、2020年同月比4%増）。1～11月の累計は、前年同期比▲6%減（2020年同期比+8%増）の70万m³。



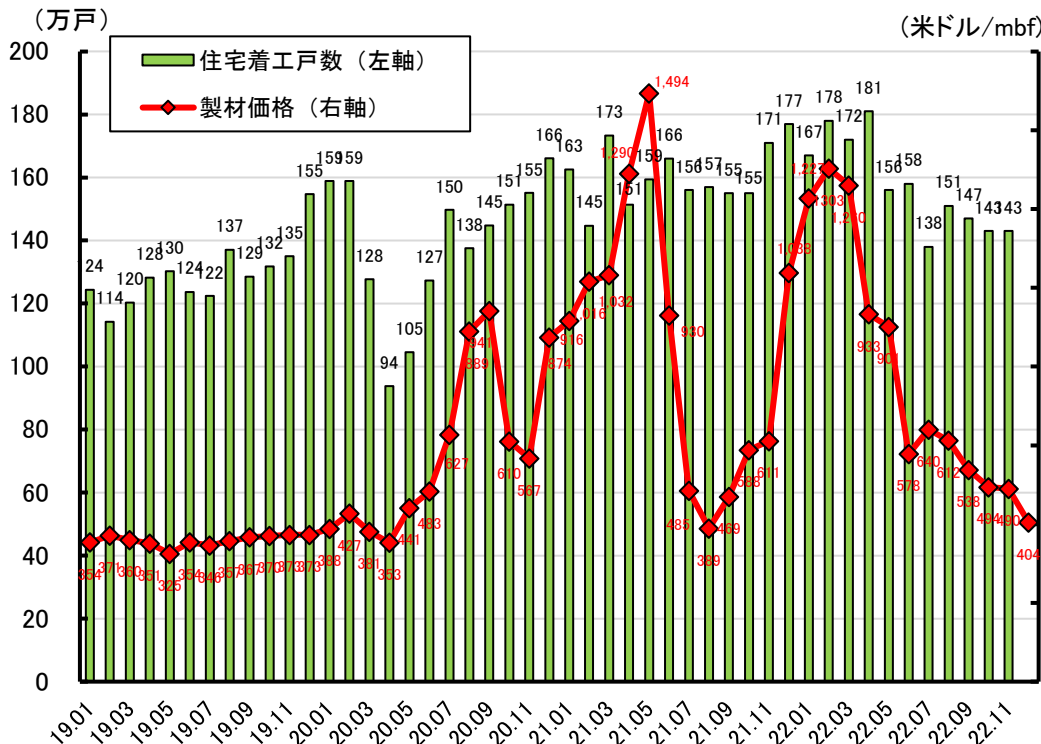
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

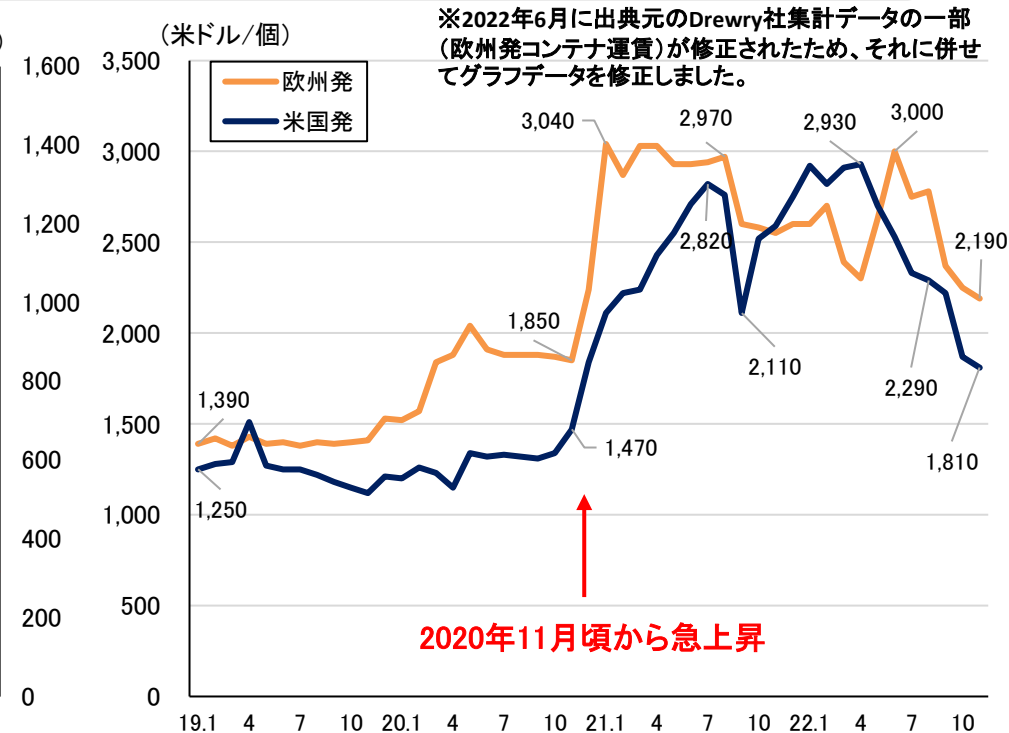
(参考1) 米国における木材価格の動向等

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続き、2022年11月は143万戸となった。
- 北米の木材価格は、2020年夏から急上昇。同秋に一旦下がったものの同冬から再び急上昇し、2021年5月には1,494ドル/mbfを記録。以後急落したが、同年9月以降再上昇し、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録。その後再度下落し、2022年11月には404ドル/mbf(前月比▲18%減)となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続いている。



資料: (住宅着工戸数) 米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)
(製材価格) Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格、2022年6月以降は月中価格)

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移

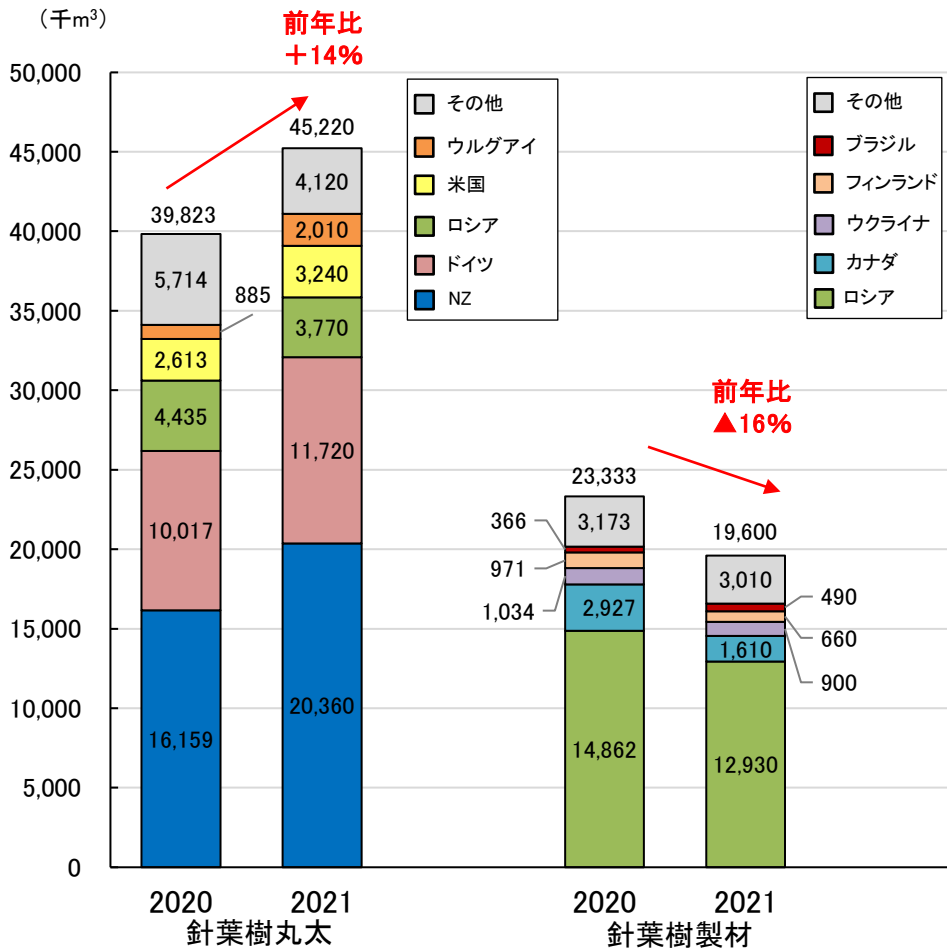


(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」
資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移

(参考2) 欧州・中国における木材需要の動向

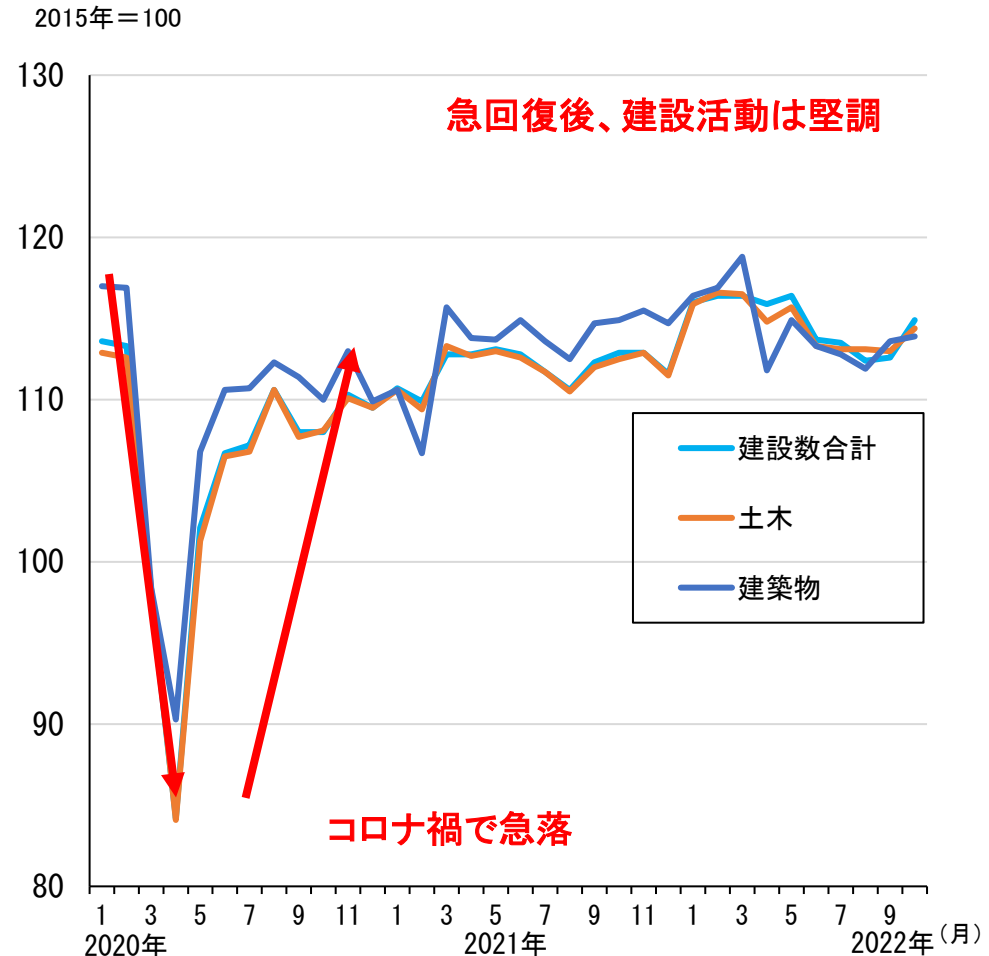
- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+14%増の4,522万m³。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m³。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

※R4.5 針葉樹丸太データを修正

中国の木材輸入量
(2020年、2021年)



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

EUにおける建設活動水準 (2015年比)